



言葉は言霊（ことだま） ～1秒の言葉～

昔から日本では、言葉を言霊（ことだま）と言って人の心を動かす魂（たましい）が宿っていると考えられていました。声に出した言葉が現実には何かの影響を与えるという考え方です。奈良時代に編集された「万葉集」の中にも「磯城島（しきしま）の 大倭（やまと）の国は 言霊の助くる国ぞまさきくあれ」（歌意は、「大和の国は言葉に霊力がひそんでいる国だ。私が今、こうして祈っているのだから、効き目がないわけがない。無事帰っていらっしゃるに違いない。」と海路の無事を祈った歌である。）とあるように「言霊」（ことだま）という言葉が使われています。このように昔から日本人は言葉の持つ不思議な力に気付いていたのです。

今回は、言霊・言葉の持つ不思議な力を現した素晴らしい詩を紹介します。漫画家や絵本作家として活躍している小泉吉宏さんの「1秒の言葉」という詩です。1984年にラジオのCMとして作成され、週1回1年ほど放送された後、翌85年にテレビCM化されるなど話題となりました。詩の短い言葉に多くの人が心を打たれ、放送後、「結婚式のスピーチに使いたい」「教材にしたいたい」などの問い合わせが殺到しました。

1秒の言葉 小泉吉宏

「はじめまして」

この1秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この1秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この1秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この1秒ほどの短い言葉で、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この1秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることもある。

「さようなら」

この1秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある。

1秒に喜び、1秒に泣く。

一生懸命、1秒。

人は生きる。

言葉には不思議な力があります。たった1秒の言葉であっても人間の一生を左右するほど影響力があるといっても過言ではありません。この詩は、私たちに言葉の持つ力や大切さを語りかけているように感じます。

時間に追われながら生活している私たちにとって、その短い言葉さえ置き去りにしてしまいがちですが、普段の何気ない一言一言を大切にして、人と人とのつながりを深めていきたいものです。



小泉吉宏さん

今年度最後の「読み聞かせ」 1年間ありがとうございました

7日(水)今年度最後の「読み聞かせ」が行われました。どの学年の子どもたちも読み聞かせを楽しみにしており、目を輝かせながら静かに聞いていました。読み聞かせが終わると、子どもたちから「とても楽しかったです。ありがとうございました。」と、図書ボランティアの方々への感謝の言葉がありました。今年度は11回、のべ52学級で読み聞かせが行われました。

良質な本は子どもの心を豊かにしてくれます。これからも本の世界にじっくりと浸る時間を大切にしたいと思います。

図書ボランティアの皆様、1年間を通して本の修繕や楽しい本の読み聞かせをありがとうございました。

お世話になりました。 50音順 敬称略

赤井田仁子、荒川文子、市村宏子、伊藤円香
小野 忍、金澤禎子、木船知子、熊岡雅美
新藤恭子、深谷ひろみ、町田功実江、松田照美



「須賀川二中区小学校スポーツ交流会」初開催

16日(金)に今年度初めて須賀川二中区の3つの小学校の6年生が須二中の体育館に集まり、スポーツ交流会が開催されました。須賀川二小67名、阿武隈小76名、柏城小118名、計261名が集まりました。長なわや歌や鬼ごっこ、アイスブレイクなどのゲームを行いました。はじめは緊張していた児童も徐々に笑顔が多くなりました。3校の混合チームでみんな楽しく交流を深めました。

スポーツ交流を終えて 6年 遠藤花歌

須二中学区の阿武隈小学校と柏城小学校の人たちとスポーツ交流大会を行いました。やる前は、「なにをやるのかな。」と少しこわかったけれど、やってみたら楽しかったです。一番楽しかったのは、木とリスのゲームで、二人で手をつないで木を、もう一人がその間でリスになるゲームです。他の学校の人が「来て」と呼んで私を入れてくれたのでとてもうれしかったです。他の学校の先生とも手をつなぎました。たくさんの人と知り合えたし、優しい人がたくさんいることがわかったので、中学校に行くのに不安がずいぶん小さくなってよかったです。



子どもたちの活躍 栄光をたたえて！

【平成29年度 福島県算数・数学ジュニアオリンピック】 ※銅メダルについては13号で掲載

○優秀学校賞 ○奨励賞 6年 小野健太郎・鯉澤京奈

【平成29年度 ふくしまっ子ごはんコンテスト】 ○学校賞 ※優秀賞については12号で掲載

【第57回 新春書道展】

○須賀川市議会議長賞 3年 松井彩華 ○須賀川地方ユネスコ協議会長賞 5年 熊田愛音

【第29回 田善顕彰版画展】

○最優秀賞(小学生の部) 6年 薄井梨咲 ○優秀賞(小学生の部) 2年 池島怜奈

○佳作 1年 井上鈴音・鈴木花凜・原 万平 2年 鶴川友宏 4年 瀧川 漸・田中ちひろ

渡辺虎太郎 5年 大和田はみ・高橋真惟 6年 田村茉那

【第62回 福島県書きぞめ展】

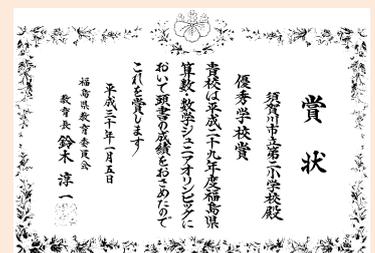
○書きぞめ準大賞 2年 武田優那

○書きぞめ奨励賞 3年 小野菜々子 6年 平原由唯

【第5回 福島県管弦打楽器ソロコンテスト県南地区大会】

○最優秀金賞(小学校の部) フルート 6年 平原由唯

【届けよう、服のチカラ プロジェクト】 ○感謝状 6年生



算数・数学ジュニアオリンピックの賞状

